

サイバー攻撃や事件を 通報し、オーストラリアを セキュアに保ちましょう

申込先

無料警報サービス申込は
cyber.gov.auから

通報先

サイバー犯罪の通報は
REPORTCYBER:
cyber.gov.au/reportへ

連絡先

電話1300 CYBER1またはホーム
ページcyber.gov.auから

フォロー先



5.詐欺に注意

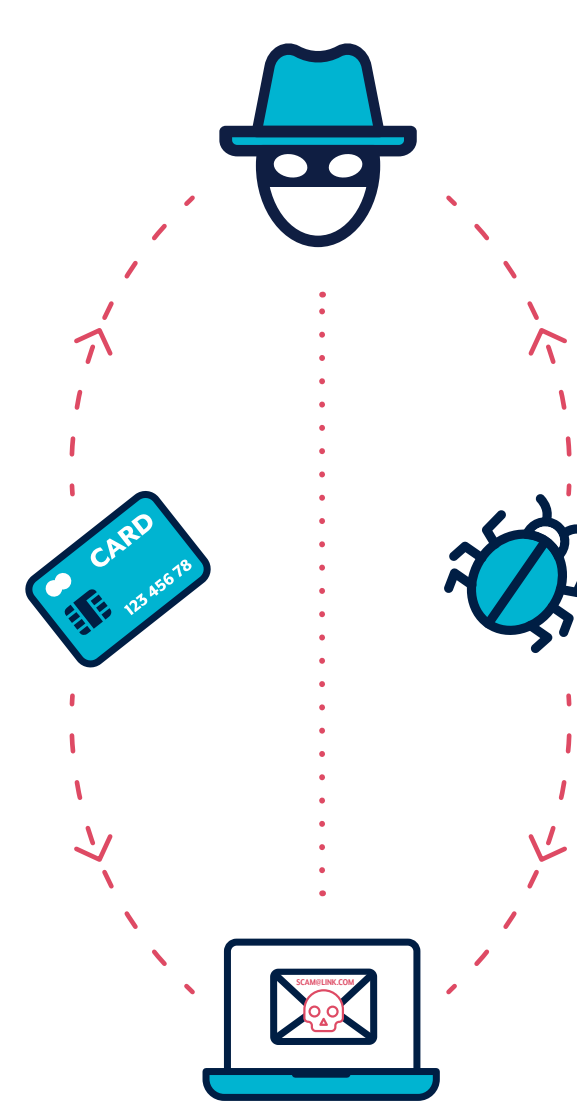
サイバー犯罪者はメール、SMS、電話やソーシャルメディアなどを使ってユーザーを騙し、添付ファイルやウェブサイトを開けさせたりアカウントのログイン詳細や機密情報を漏洩させたり金銭やギフトカードを送らせたりします。このようなメッセージは、一見ユーザーが知っている、あるいは信用できるはずだと思えるような個人や団体組織から送られてきたように見せかけてあります。

詐欺メッセージを見分けるには立ち止まって次の点について考えましょう：

- ✔ **正規組織を名乗る：** そのメッセージは正規の組織からのものということになっていますか
- ✔ **緊急性：** 限られた時間内に返事をするように言われていますか
- ✔ **感情に訴える：** パニックや恐怖感を煽ったり、期待感や好奇心に訴えるようなメッセージですか
- ✔ **希少性：** 不足している品物やサービスを提供するものですか
- ✔ **時事問題：** 時事問題や大きな社会問題、特定の時期（例えば税務申告）に関係のあるメッセージですか

メッセージの真偽を確かめるには：

- ✔ 信用できる情報源に戻ってみましょう。公式ホームページを確かめる、自分のアカウントにログインしてみる、広告されている電話番号に電話してみる、などです。送られてきたメッセージや電話口で聞いただけのリンクや連絡先を使ってはいけません。
- ✔ 公式の情報源から絶対に問い合わせないと言われた情報は何だったかを確認しましょう。例えば、自分の口座のある銀行からパスワードをきくことは絶対ないと既に聞いていませんか。



詐欺メッセージの見分け方の詳細については豪州サイバーセキュリティセンター(ACSC)発行の「Detecting Socially Engineered Messages」を参照し、ACSCの警報サービスにcyber.gov.auから申し込んで最新情報をキャッチしましょう。



簡単なステップで デバイスやアカウント をセキュアに

このステップに従ってサイバー
犯罪者に狙われるリスクを軽減
しましょう

1. デバイスをアップデートする

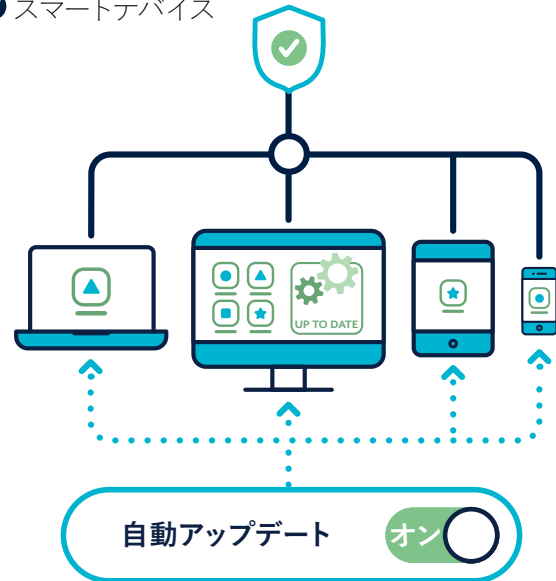
サイバー犯罪者は脆弱性のあることがわかって
いるシステムやアプリを使っているデバイスに不正侵入してきます。アップデートにはこうした脆弱性に対応したセキュリティアップグレードが含まれています。自動アップデートをオンにして、ユーザーのインプットなしにこうしたアップグレードが行われるようにしましょう。

各デバイスの自動アップデートをオンにする：

- ✔ 携帯電話
- ✔ ノートパソコン
- ✔ パソコン

定期的に次のアップデートがないかチェックする：

- ✔ アプリ
- ✔ プログラム
- ✔ スマートデバイス



2. 多要素認証(MFA)の使用

MFAはサイバー犯罪者がファイルやアカウントにアクセスするのを困難にし、セキュリティを向上します。

最も大切なアカウントにはMFAを設定する：

- ✔ メールアカウント
- ✔ オンラインバンキングや支払い詳細が記録されているアカウント
- ✔ ソーシャルメディア

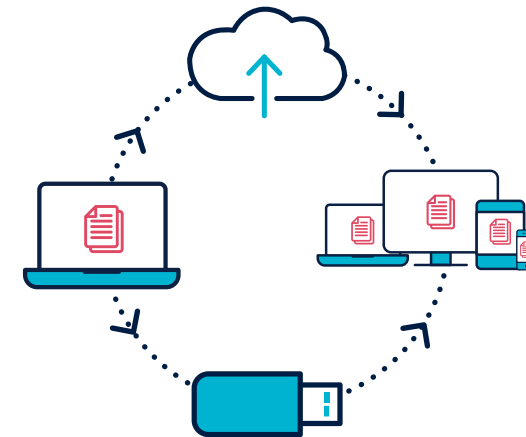


3. デバイスのバックアップ

バックアップとは、デバイス上に保存されている写真や書類、ビデオなどの情報やアプリケーションに保存されているデータをデジタル化したコピーを指します。外部記憶装置やクラウドストレージなどに保存することができます。バックアップがあれば、万が一デバイスを紛失したり盗難にあたり損傷した場合でもファイルを復旧できます。

デバイスのバックアップは定期的に行いましょう：

- ✔ 携帯電話
- ✔ ノートパソコン
- ✔ パソコン
- ✔ タブレット型コンピューター



4. セキュアなパスワードの設定

MFAが使えない場合、セキュアなパスワードが犯罪者からデータやアカウントを守る最後の砦となることが多々あります。

パスワードとは、ふつう4つ以上の単語を無作為に組み合わせた長文のパスワードを指します。パスワードをパスワードに変える場合は次の点に注意：

- ✔ 長いもの：パスワードは長いほど良い最低でも14文字の長さに
- ✔ 推測しにくいもの：無関係な単語をランダムに組み合わせましょう
- ✔ 固有性の高いもの：同じパスワードを複数アカウントで使ってはいけません

